

第27回全国私立大学教育研究集会 開催要項

2016年7月7日

日本私大教連
(日本私立大学教職員組合連合)

私立大学・短大は学生数で全体の75%を占め、多様な若者の成長・発達を支え、次代を担う市民、職業人を育て、社会の発展に大きく貢献しています。しかし私立大学の状況は年を追って厳しさを増しています。定員未充足の増加、採算状態の悪化、人件費や教育研究条件の切り下げ、募集停止・閉校など、とくに地方・中小規模大学を中心として将来の不透明感や不安感が強まりつつあります。また私立大学生の学費負担の重さは、世帯年収が低下の一途をたどる中で限界に達しており、貧困な奨学金制度のもと、多くの学生は学費や生活費を得るために多くの時間を費やさざるを得ず、充実した大学生活を送ることを困難にしています。

私立大学と私立大学生に困難をもたらしている根本的な要因は、政府が長期にわたり私立大学と私立大学生への公財政支出を極めて低水準に抑制し、費用負担を家計に押し付け、一方で「経済競争力強化」に大学を最大限動員するための「改革」政策、競争・淘汰の大学政策を推し進めてきたことにあります。安倍政権は学校教育法・国立大学法人法の改悪や、予算の重点配分による政策誘導の抜本的強化、「専門職業大学」創設による新たな大学体系の導入などにより、こうした方向をさらに強力に「加速」させています。予算誘導による軍学共同・軍事研究の拡大も重大です。

さらに安倍首相は、立憲主義を蹂躪し、憲法違反の解釈改憲、安保法制を強行したことに続いて、在任中に憲法改正を成し遂げることを再三にわたって公言しており、現行憲法の基本原理を覆そうとする企てが具体的な政治日程に上りつつあります。いま、この国の立憲主義・民主主義・平和主義は重大な岐路に立たされています。

このような状況を踏まえ、今回の私大教研集会では、記念講演にノーベル物理学賞受賞者の益川敏英さん(京都産業大学教授)をお迎えし、「大学・学問と平和」をテーマに縦横に語っていただくとともに、安保法制強行以降、途切れることなく続いている大学人と市民の運動をはじめ、多様な角度から平和・民主主義の課題に取り組んでいる大学関係者に学ぶセッションを設けました。また、私大政策の多角的な分析と対案、奨学金制度の貧困と学生の困難の打開、多様化する大学教育と学生支援の課題、職員職場の質の改善をテーマにしたセッションなど、これからの「私立大学のありかた」を考え、また私たちが直面している課題にどう取り組んでいくかを学び交流し合える企画を準備しています。多くの方々のご参加を心より呼びかけます。

目次

I 開催日・会場等……………	2	V 宿泊について……………	4
II 参加費……………	2	VI 会期中の昼食・団体保険について……………	4
III 参加申込・参加費等の納入方法……………	2	VII セッション紹介……………	5
IV 会場へのアクセス……………	3	VIII レポート提出について……………	7

I 開催日・会場等

1. 名 称……………第27回全国私立大学教育研究集会（略称：全国私大教研）
2. 開催日……………2016年8月27日(土)14:00開会～8月29日(月)12:00閉会
3. 会 場……………27日：イーグレひめじ“あいめっせホール”（姫路市本町68-290 TEL 079-287-0800）
28・29日：姫路商工会議所（姫路市下寺町43 TEL 079-223-6551）
4. 主 催……………日本私大教連（日本私立大学教職員組合連合）
TEL 03-5285-7243 FAX 03-3208-0430 E-mail info@jfpu.org
5. 日 程

8月27日(土)	13:00 受付開始【イーグレひめじ3階・ホール前ホワイエ】 開場13:30 14:00～17:30 全体集会【あいめっせホール】 ◇開会行事 ◇基調報告 ◇記念対談 大学・学問と平和（仮題） <講師> 益川敏英さん（京都産業大学教授・益川塾塾頭） 18:15～20:15 全体交流会・情報交換会【灘菊酒造】
8月28日(日)	9:00～12:00 セッション 【姫路商工会議所5階・6階会議室】 13:00～17:00 セッション *当日受付＝6階ホワイエ
8月29日(月)	9:00～12:00 セッション 【姫路商工会議所5階・6階会議室】

(注) 各セッションの会場は現地配布の集会プログラムでご案内します。

II 参加費

1. 参加費：1人6,000円。
2. 未加盟組合から参加される場合は、参加費とは別に集会分担金を拠出いただいています。
分担金の額は「参加者が所属する組合の組合員実数×200円」です。
3. 全体交流会・情報交換会：1人6,000円（着席・フリードリンク、往路バス代含む）。
4. 集会期間中の交通費、食事代等は各自のご負担となります。

III 参加申込、参加費等の納入の方法

A 全国私大教研の参加申込……「参加申込書」（別紙）を使用

1. 申込時の提出書類は、別紙の「参加申込書」「参加組合の概要」の2枚です。
2. 必要事項を漏れなく記入し、申し込み締切日までに関西私大教連にFAXなどでお申し込み下さい

B 参加申し込みの締切……8月9日（火）必着

C 参加費、未加盟組合分担金、全体交流会会費のお支払方法

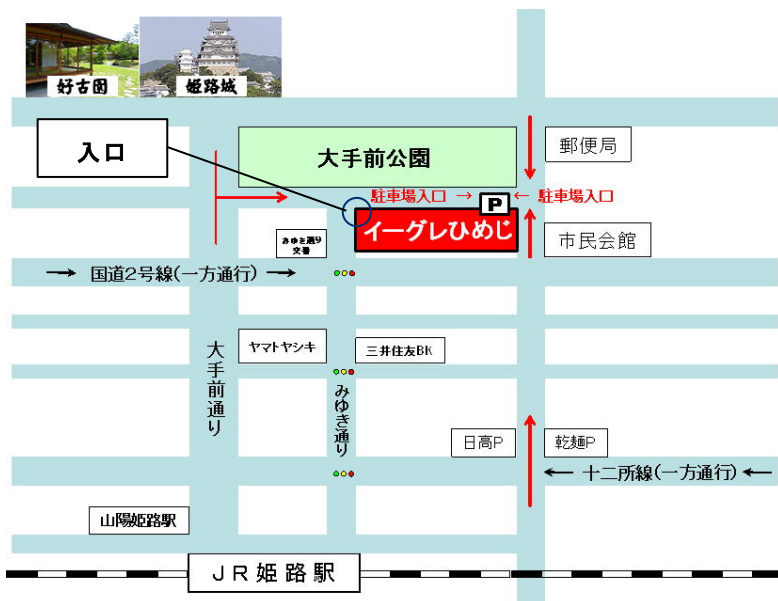
振込先＝近畿労働金庫大阪中央支店 普通 8 7 5 4 3 7 2 関西地区私立大学教職員組合連合

* 組合費の納入口座とは別口座ですのでお間違えのないようお願いいたします。

* 宿泊費については別扱いとなりますのでご注意ください（次項参照）。

IV 会場へのアクセス

○イーグレひめじ JR 姫路駅北口より徒歩 8 分。姫路城大手前公園前。



※左図中の矢印は自動車の案内です。

※姫路駅から徒歩の場合、

○大手前通りを北（姫路城方向）へ直進、大手前公園の角を右折

するか、

○みゆき通り（アーケード商店街）を北へ直進

すると、迷わずたどり着きます。

※建物入口は大手前公園側です。

○姫路商工会議所

JR 姫路駅北口より徒歩 20 分。

JR 姫路駅北口よりバス 5 分。

神姫（しんき）バス

* 乗り場⑮「日出町」行き乗車

→「商工会議所前」下車

* 乗り場⑯「鹿島神社」「夕陽ヶ丘」「別所駅」行き乗車

→「坂田町」下車

バス乗り



V 宿泊について

日本旅行を通じて下記のホテルを確保しています。これらのホテルをご利用の際は、下記「申込方法」にしたがってお手続きください。一定数・一定期間を仮押さえしている関係で、各ホテル等がウェブで提供している料金よりも若干高めになっておりますが、ご理解ください。なお下記以外のホテルを予約する際には、混雑が予想されますので早めのご予約をお願いします。

ホテル名	確保数	料金	立地等
ホテル姫路プラザ	29 室	7,100 円	J R 姫路駅南口徒歩 2 分
ヴィアイン姫路	50 室	7,900 円	J R 姫路駅東口徒歩 2 分
姫路キャッスルグランヴィリオホテル	20 室	10,000 円	J R 姫路駅南口徒歩 7 分、送迎あり

* 部屋はすべてシングルルームです。料金は 1 泊朝食付き（税・サービス料込み）の値段です。

○申込方法

別紙「宿泊予約申込書」に必要事項を記入の上、「日本旅行」あてに F A X で送付してください。

F A X 番号 0 3 - 3 2 2 5 - 1 0 0 8

○申込期間

7 月 1 3 日 (水) から 8 月 5 日 (金) まで。先着順となりますのでお早めにお申し込みください。

○予約確認と宿泊料金のお支払い

お申し込み後、代表者の方に日本旅行より予約回答、案内書、請求書が送付されますので、その内容にしたがって宿泊料金をお支払いください。

○キャンセル料

ご宿泊の 2 週間前 (8 月 27 日宿泊の場合、8 月 13 日以降) からキャンセル料が発生します。ご注意ください。

VI 会期中の昼食および団体旅行保険

A 8 月 2 8 日 (集会二日目) の昼食について

会場の「姫路商工会議所」地階にレストラン、会場周辺に小規模の飲食店が数件ありますが、昼休み時間内に参加者全員に対応できる席数がないため、ケータリングのお弁当を用意します(お茶付き 1000 円)。ご希望の方は「参加申込書」にてご注文ください (代金は当日徴収となります)。

B 団体旅行総合保険について

1. 日本私大教連は全国私大教研に団体旅行総合保険(死亡・後遺障害 600 万円外)を掛けています。
2. 保険の申し込みには、氏名・性別・年齢が必要ですので、保険加入をご希望の方は参加申込書に記入漏れのないようご注意ください。
3. 保険期間は 8 月 2 7 日の開会集会開始時から 8 月 2 9 日のセッション終了時までです。
この間に事故が生じた場合は、速やかに集会事務局および日本旅行にご連絡ください。
(→ 集会事務局緊急用連絡先 0 9 0 - 1 1 1 8 - 0 3 9 4)

VIII セッション紹介

	午前コマ (9:00-12:00)	午後コマ (13:00-17:00)
8/28 SUN	1. これからの私立大学政策を考える	4. 学費と奨学金をめぐる諸問題
	2. 多様化する大学教育と学生支援	5. 職場の質の改善・向上を考える
	3. 不当解雇・権利侵害・不当労働行為とのたたかい(午前・午後2コマ)	
8/29 MON	6. 平和と民主主義をめぐる課題と取り組み	
	7. 大学の管理・運営の民主化を求めるたたかい	
	8. 地域社会と大学、地方における大学の意義	

1. これからの私立大学政策を考える

基調報告を踏まえ、私立大学政策の動向とそれに対する私たちの対案・提言を深めることを主眼とします。日本私大教連が行った理事長・学長を対象とした政策アンケートの集約結果、参院選公開質問の各政党の回答、「政策提言 2016 (中間まとめ)」「日本私大教連の私立学校法改正案」を素材として、討議を行います。

2. 多様化する大学教育と学生支援

多様化する学習支援や学生支援の課題とそれに対応する教育実践や取り組み、それによって教育労働がどのように変容しているかなどを交流することを主眼とします。以下に例示するような多様なテーマでレポートを持ち寄り意見交換します。 **レポート募集**

- (テーマ例)
- 学習上の困難への対応、教育実践
 - 「アクティブラーニング」の拡大と対応
 - 職員の学生対応 (情報教育、ネチケット)
 - 就職活動の支援
 - 学生相談、メンタルヘルス対応
 - 障害学生への支援
 - LGBT への対応

3. 不当解雇・権利侵害・不当労働行為とのたたかい

不当解雇・権利侵害・不当労働行為とのたたかいについて学習・交流することを主眼とします。今回は、各単組からのレポートにくわえ、いくつかの特徴的な事件について担当弁護士から事例報告をしてもらいます。単組レポートは各地区を通じて依頼します。

4. 学費と奨学金をめぐる諸問題

学費負担の重さと学生の生活状況、奨学金の返還困難をめぐる問題、それら諸課題の打開めざす運動について学習・交流することを主眼とし、以下の内容を予定しています。

- 「奨学金問題」への取り組み (奨学金問題対策全国会議「兵庫の会」に依頼中)
- 学生の生活状況
 - *各大学が実施している「学生生活実態調査」から読み取れる現状 **レポート募集**
 - *ブラックバイトや深夜労働などの問題と取り組み (関西学生アルバイトユニオンに依頼中)
- 全国私教連の取り組み (生徒・保護者を軸とした私学助成運動、就学支援金運動)

5. 職場の質の改善・向上を考える (職員セッション) **レポート募集**

大きなテーマを「職場の質の改善・向上を考える」に置き、日本私大教連の実態調査アンケート結果と、以下の4つのテーマに関する単組・個人のレポートをもとに、議論と交流を深めることを主眼とします。またセッション終了後は会場を移して「職員交流会」を開催します。

- ① 有期雇用・非専任・派遣職員の増加、外部への業務委託と専任職員の仕事

- …専任職員と専任外職員の比率、業務の切り分けの状況／業務委託による業務能力の空洞化／専任外職員の労働実態など
- ②多忙化の実態と改善の取り組み
 - …多忙化の現状と原因（①との関連の他、学生の質の変化や新たな業務の増加など）／改善の取り組み（組合として、職場として）
- ③ワークライフバランスの確保の取り組み
 - …育児介護休暇の整備や時間外労働削減など
- ④能力主義的な人事評価制度の導入事例と制度の問題性

6. 平和と民主主義をめぐる課題と取り組み

「大学と戦争、平和」を大きなテーマにおき、下記の切り口から私たちの取り組みや課題について学習・交流することを主眼とします。

- ①個別大学年史にみる戦中・戦後の大学 **レポート募集**
- ②安保法制等に反対する各大学「有志の会」などの取り組み報告 **レポート募集**
- ③大学における「主権者教育」の取り組み報告 **レポート募集**
- ④「20世紀世界史と日本史」の学習と理解に関する調査報告（「すべての大学に教養科目『戦後世界史と日本』を！市民ネットワーク」に依頼中）

7. 学校教育法改正後の大学の管理・運営の民主化を求めるたたかい

改正学校教育法施行から1年半が経過した今日、改正法が大学運営に及ぼしている影響や、大学にふさわしい民主的な管理・運営を求めるたたかいを交流し、今後のたたかいの方向を検討することを主眼とします。

- ①国公立大学の教職員組合全国組織の全大教、公大連からの事例報告（依頼中）
- ②単組レポート **レポート募集**

8. 地域社会と大学、地方における大学の意義・役割

地方私立大学が地域社会において果たしている役割、地域社会から期待されている役割について、具体的な事例報告からとらえ直し、今後のあり方を検討することを主眼とします。

- ①北海道の私大が果たしている役割・果たすべき役割（北海道高等教育研究所に依頼中）
- ②行政から見た地域と大学の連携の目的と課題（兵庫県、姫路市の政策当局者と折衝中）
- ③地方私立大学の公立化に地域社会は何を期待するか（行政当局者・大学関係者に依頼）

■ ポスターセッション募集要項 ■

組合・個人・グループ、職種を問わず、教育研究の質向上を図る取り組み、教職員の権利を守る取り組み、社会の諸課題の解決に向けた取り組みなど、どのような分野でも、「教育研究集会にふさわしい！」と思うテーマであれば出展可です。出展数上限は20点です（先着順）。会場は602会議室を使用し、展示用パネル（サイズ1200×1800）と机・イスを提供します。署名活動や書籍販売、パンフレット等の配布も可とします。会場にはコーヒブレイク用の飲み物等を用意します（午後の各セッションでブレイクタイムを設けます）。

◇開催時間 8月28日（日）10時～17時（コアタイム：12:25～12:55、午後のブレイクタイム）

◇応募方法 ・ 申込期間：7月25日（月）から8月16日（火）

- ・ 申込方法：日本私大教連にEメール(info@jfpsu.org)でお申込みください。件名を『教研ポスターセッション』とし、①出展者氏名・所属、②出展のテーマと概要を明記してください。

VII セッションへのレポート提出について

A レポートのお願い

1. 全国私大教研のセッションの成功は、組合員の皆さんから内容あるレポートが提出されるかどうかにかかっています。
2. 「セッション紹介」(5・6頁)をご覧ください、積極的にレポートの準備をされるようお願いいたします。
3. レポートは次項「レポートの形式」に従って作成して下さい。
4. レポートは会場で全参加者に配布する「集会プログラム」に掲載しますので、提出期限をお守りください。提出期限を過ぎた場合は当該セッションのみでの配布となります。

B レポートの形式(8頁参照)

1. レポートの内容と資料の扱い
 - (1) レポートは箇条書きでも構いません。ただし、簡略すぎて内容が判らないということがないようにして下さい。
 - (2) 資料が必要な場合は、レポートとは別に用意し、当日セッション会場で配布して下さい。必要部数はセッションにより異なりますので、日本私大教連書記局にお問合せください。
 - (3) 「資料」の現地への送付については次頁-Eをご参照ください。
2. 用紙・文体・分量
 - (1) A4タテ・横書き・である調
 - (2) 2頁以内に収めてください。超過した場合は日本私大教連書記局で編集する場合があります。
3. 文字サイズ・1行の字数・1頁の行数の目安
 - (1) 文字サイズ……本文=10ポイント(タイトル・見出しは任意)
 - (2) 1行の字数……50字
 - (3) 1頁の行数……50行

*いちおうの目安です。2頁以内に収まれば自由に設定いただいてけっこうです。
4. マージン(余白)……上下左右とも20mmの余白を設けてください。
5. レポートのフォーム……次頁をご参照ください

C レポート原稿の提出について

1. 提出期限……**8月16日(火) 必着**
 - (1) レポートを集会参加者全員に配布できるよう、できるかぎり提出期限までにご準備ください。
 - (2) セッションの報告でパワーポイントを使用することができますが、集会プログラムに縮小掲載することを考慮し見にくくならないように工夫してください(集会プログラムはモノクロ印刷です)。またパワーポイントの使用を希望する場合はレポート提出時に必ずお申し出ください。
2. 提出方法
日本私大教連へEメール(info@jfpu.org)で送付して下さい。極力、ワードファイル(もしくはワード形式で保存したもの)にてご提出ください。

D レポートを直接セッションに持ち込む場合について

1. レポートの形式……上記VII-B「レポートの形式」と同じ
2. レポートの部数……セッション参加者分(当該セッションのみの配布、部数はお問い合わせください)
3. 書記局への提出……レポートができ次第、日本私大教連に必ず送付して下さい(FAX可)

●FAX=03-3208-0430

4. レポートを現地に事前送付する場合は、次項Eに従って送付して下さい。

E 資料等の現地送付について

レポート、資料をあらかじめ現地に送付する場合は次のようにお願いします。

1. 送付日……必ず8月25日(木)の到着日指定で送付ください。
2. 送付先……「〒670-0012 姫路市本町 68 姫路観光コンベンションビューロー」宛
※ 梱包の目立つ箇所に「全国私大教研第〇セッションレポート在中」と必ず明記して下さい。

■ レポートのフォーム (A4タテ・横書き) ■

余白 2cm		(↓セッション名は不要)
第27回全国私大教研レポート	第〇セッション	
レポートのタイトル		
組合名 氏 名		
(本文)		
1. 用紙・文体・分量 * A4タテ・横書き・である調 * 分量はA4＝2枚まで。超えた分は原則としてカットさせていただきます。	余白 2cm	
2. 活字の大きさ・1行の字数・1頁の行数の目安 * 本文の活字……10ポイント(タイトル・見出し＝任意) * 1行の字数……50字(字間のアキを極力ゼロに設定する) * 1頁の行数……50行 (※字数・行数は目安です。下記分量内であれば自由に設定してけっこうです)		
3. レポートの内容・資料の扱い * レポートは簡条書きでも構いませんが、簡略にしすぎて内容が判らないということがないようにご注意下さい。 * 資料が必要な場合は、レポートとは別にセッションで配布して下さい。 * 資料を現地に事前送付する場合は上記をご参照下さい。		
4. レポートを直接セッションに持ち込む場合 * 7頁-Dの指示に従って必要部数作成して下さい。 * 配布は全員でなく当該セッションだけとなります。		
(* ページ番号不要)		